

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	心理学研究法		
担当者(Instructors)	松尾 香弥子	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

<b>■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)</b>			
心理学を学問として研究するためには、研究計画の立案から結果の発表まで定められた方法がある。それらを実践することで、安全で有効な研究が達成される。反対に、定められた方法を守らなければ、誰かを傷つけ、意味のない研究となってしまう危険性がある。本講義では心理学研究の特徴や方法について、理論的背景から実践までの注意点を学ぶ。また実際に講義内で実践しながら講義をすすめるため積極的な参加姿勢を求める。			

<b>■ 授業形態・授業の方法 (Class form)</b>	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義の他、各回のテーマに沿ってグループないし個人で実際に実践を行う。

<b>■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)</b>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	研究とは	講義の進め方と自然科学・人文科学を含めた学問の役割や研究の機能について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第2回	心理学研究法とは	心理学研究をおこなう上での基礎的な留意点について学習する。	<input type="checkbox"/>
第3回	実験法の基礎	実験法とは何か、どのように実施するのかを学習する。	<input type="checkbox"/>
第4回	実験法の基礎実際	因果関係に着目し、実験法の効果と限界を学習する。	<input type="checkbox"/>
第5回	質問紙調査法の基礎	質問紙法やアンケートの実施方法や理論について学習する。	<input type="checkbox"/>
第6回	質問紙調査法の実際	質問紙法の効果と限界を学習する。	<input type="checkbox"/>
第7回	観察法の基礎	観察法の役割や理論について学習する。	<input type="checkbox"/>
第8回	観察法の実際	実際にグループ活動を観察して記録する。	<input type="checkbox"/>
第9回	面接法の基礎	面接法の役割や理論について学習する。	<input type="checkbox"/>
第10回	面接法の実際	実際に面接場面を想定して面接を観察して記録する。	<input type="checkbox"/>
第11回	検査法	研究として心理検査をおこなう際の理論や実施方法について学習する。	<input type="checkbox"/>
第12回	精神生理学的研究	生体情報をデータ化する実施方法や効果と限界について学習する。	<input type="checkbox"/>
第13回	研究レビュー	先行研究のまとめ方やその意義について学習する。	<input type="checkbox"/>
第14回	研究倫理	人を対象とした研究についての倫理を学習する。	<input type="checkbox"/>
第15回	臨床研究と治験	薬や医療機器の開発について学習する。	<input type="checkbox"/>

<b>■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)</b>	
授業時間内に作業が終わらない場合には、授業時間外に行う必要がある。各手法について復習し、実際に使えるようにしておく。(4時間)	

<b>■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)</b>	
課題は翌週以降にまとめてフィードバックし、内容について、解説とともに解答例を提示する。	

<b>■ 授業の到達目標と評価基準 (Course goals)</b>		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

知識・技能	◇ 2019人間健康DP1	科学としての心理学がどのような方法を用いて研究されているのかを理解し、心理学研究について概要を説明できる。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	科学としての心理学の方法論について、科学的手法に則ることの重要性について問題意識を持ち、解決策を探索できる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
		30%	40%	30%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
成績は、授業中のワークや提出物、授業内試験、レポート試験によって総合的に判断する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	石井秀宗・滝沢龍編 公認心理師カリキュラム準拠 臨床統計学 医歯薬出版	
2		
3		
4		
5		